

国立感染症研究所病原体等安全管理規程

別冊 2

「取扱様式集」

平成 22 年 6 月

国立感染症研究所

目 次

取扱様式 1	BSL 2 実験室使用申請書	
取扱様式 2	BSL 2 実験室使用終了届	
取扱様式 3	BSL 1, 2 病原体等取扱届	
取扱様式 4	病原体等取扱申請書	
取扱様式 5	BSL 2, 3 病原体等移動 (受入) 届	所外用
取扱様式 6	BSL 2, 3 病原体等移動 (受入) 届	所内用
取扱様式 7	BSL 2, 3 病原体等廃棄届	
取扱様式 8	特定病原体等分与 (譲渡) 申請書	
取扱様式 9	特定病原体等受入申請書	所外用
取扱様式 10	特定病原体等受入申請書	所内用
取扱様式 11	国際バイオハザード標識	
取扱様式 12	特定病原体等滅菌・廃棄届	

(参考) 改訂事項一覧

B S L 2 実験室申請書

国立感染症研究所長 殿

申請日 平成 年 月 日
申請者 部 (センター・室) 長
氏名 _____ (印)

所轄実験室について、国立感染症研究所病原体等安全管理規程第 18 条第 3 項の規定に基づき、B S L 2 実験室として使用について申請します。

1. 実験室名 (部屋名)
2. 使用開始年月日 平成 年 月 日
3. 主な取扱予定病原体名
4. B S L 2 実験室運営責任者名
5. 実験室の概略図 (安全キャビネットとオートクレーブの設置場所を明示すること)

B S L 2 実験室使用終了届

国立感染症研究所長 殿

届出日 平成 年 月 日
届出者 部 (センター・室) 長
氏名 _____ (印)

所轄実験室について、国立感染症研究所病原体等安全管理規程第 18 条第 4 項の規定に基づき、B S L 2 実験室としての使用を終了することを届出ます。

1. 実験室名 (部屋名)

2. 使用終了年月日 平成 年 月 日

3. 取扱病原体等の種類

4. B S L 2 実験室運営責任者名

取扱様式 4 非特定BSL3病原体等

特定病原体等

病原体等取扱申請書

国立感染症研究所長 殿

申請日 平成 年 月 日

申請者 部(センター・室)長

氏名 _____ ㊟

国立感染症研究所病原体等安全管理規程第19条第2項及び第20条第1項の規定に基づき、病原体等の取扱いを申請いたします。

1. 非特定BSL3病原体等の名称 (BSL) 又は特定病原体等の名称 (種別, BSL) (毒素にあつては、名称種類及び数量)	非特定 () 特定 (,)
2. 病原体等を取扱う目的	
3. 病原体等の実験方法	
4. 実験に必要な期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
5. 実験終了後の病原体等の措置 (消毒、滅菌法、保管方法等について記入すること。)	
6. (1) 病原体等を取扱う職員等の氏名及び第23条の規定に適合する職員として判断できる資料 (2) 動物実験を行う場合	(氏名)(職員又は身分) (第23条の規定に適合する判断資料) 取扱い病原体 取扱い経験年数 _____ 年 バイオリスク管理講習会受講年月日・修了番号 年 月 日 第 号 1. 行う (動物を取扱う講習受講の有無) 2. 行わない (1. 有 2. 無)
7. BSL3, 4 病原体等取扱責任者名 又 BSL2 特定病原体等取扱責任者	㊟
8. 取 扱 庁 舎	1. 戸山庁舎 2. 村山庁舎 3. ハンセン病研究センター
9. 病原体等を外部から受入れる場合 (外部機関名・外部機関の取扱責任者名・受入承認日及びその他)	

注意事項

この申請は、非特定BSL3病原体等又は特定病原体等を取扱う場合に提出し、いずれか該当する項目に○印をつける。非特定と特定病原体は別々の申請書に記載してください。

取扱様式 5 海外用
 WHOコラボレーションセンター
 国内用

BSL 2, 3病原体等移動（受入）届

国立感染症研究所長 殿

届出日 平成 年 月 日
届出者 部（センター・室）長
氏 名 _____ 印

国立感染症研究所病原体等安全管理規程第 19 条第 4 項の規定に基づき、特定病原体等以外の BSL 2, 3病原体等の移動（受入）について届出ます。

1. 移動させる病原体等の名称 (BSL)		()	
2. 家畜伝染病予防法に基づく輸入許可の有無又は届出確認の有無		(有・無) 有の場合は、許可証明書又は確認書の写しを添付すること。 無の場合は、その理由を次の中から選ぶこと。 1. 国内分離株のため 2. 海外分離株だが監視伝染病の病原体でもなく届出病原体でもないため 3. その他：理由 ()	
3. 移動目的			
4.	相手機関名		
	相手機関の移動責任者	所属	
		氏名	
	連絡先	住所	
TEL: _____ e-mail: _____			
5. 移動方法②		1. 郵便 2. 配達業者 () 3. その他 ()	
6.	受入責任者	官職: _____	氏名: _____
	庁舎名・搬入実験室名	庁舎名: _____	実験室名: _____
	BSL 2 実験室運営責任者、又は BSL 3 実験室運営責任者	印	
	BSL 3 病原体等取扱責任者	印	
7. 移動予定日		平成 年 月 日	
8. 備考			

注意事項

- ①この届は、海外、WHO コラボレーションセンター及び国内の機関から BSL 2, 3 病原体等を受入れる場合に提出し、いずれか該当する項目に○印をつける。
- ②カッコ内には具体的な名称ないし方法を記入する。
- ③備考は、特記事項がなければ空欄のまま提出する。

BSL 2, 3 病原体等廃棄届

国立感染症研究所長 殿

届出日 平成 年 月 日

届出者 部（センター・室）長

氏 名 ⑩

国立感染症研究所病原体等安全管理規程第 19 条第 6 項の規定に基づき、特定病原体等以外の BSL 2, 3 病原体等の廃棄について届出ます。

1. 廃棄する病原体等の名称 (BSL)	()
2. 廃棄する理由	
3. 廃棄の方法	
4. 廃棄予定日	平成 年 月 日
5. 取扱責任者	官職： 氏名：
連絡先	TEL(内線)： e-mail：
保管場所（庁舎名、 実験室名又は保管室名）	庁舎名： 実験室名又は保管室名：
BSL2 実験室運営責任者 又は BSL3 実験室運営責任者	⑩
BSL3 病原体等取扱責任者	⑩
保管庫の責任者	⑩
6. 備 考	

注意事項

- ① この届は、BSL2, 3 病原体等について、滅菌等により所持することを要しなくなる場合に提出する。
- ② 備考は、特記事項がなければ空欄のまま提出する

取扱様式 8 海外用
 WHOコラボレーションセンター
 国内用

特定病原体等分与（譲渡）申請書

国立感染症研究所長 殿

申請日 平成 年 月 日
 申請者 部（センター・室）長
 氏 名 _____ 印

国立感染症研究所病原体等安全管理規程第 20 条第 2 項の規定に基づき、特定病原体等の分与について申請します。

1. 分与する特定病原体等の名称(種別, BSL) (毒素にあっては種類及び数量)	(,)			
2. 家畜伝染病予防法に基づく輸入品分与許可の有無	(有 ・ 無) 有の場合は、許可証明書の写しを添付すること。 無の場合は、その理由を次の中から選ぶこと。 1. 国内分離株のため 2. 監視伝染病の病原体でないため 3. その他：理由 ()			
3. 移 動 理 由				
4.	許可または届出の有無 (二種及び三種)注②			
	分与先機関名			
	分与先機関の移動責任者	所 属		
		氏 名		
連 絡 先	住 所			
	TEL:	e-mail:		
5. 移 動 方 法 注③	1. 郵便 2. 配達業者 () 3. その他 ()			
6.	分与担当官	職 名 :	氏 名 : 印	
	庁舎名・搬出実験室名	庁舎名 :	実験室名 :	
	BSL2 実験室運営責任者、又は BSL3, 4 実験室運営責任者		印	
	BSL2 特定病原体等取扱責任者 又は BSL3, 4 病原体等取扱責任者		印	
7. 移 動 予 定 日 注④	平成 年 月 日 公安委員会届出年月日 届出者 届出公安委員会名			
8. 備 考	承認日: 整理番号:			

注意事項

- ①この申請書は、特定病原体等を感染研以外の機関へ分与する場合に提出する。分与の承認を受けている場合は、病原体等分与承認書(写)の承認日及び整理番号を備考欄に記入すること。
- ②「4. 許可の有無」の欄は、感染症法に基づく分与先の二種病原体等許可所持者の許可の有無または三種病原体所持届出の有無を記載すること。
- ③カッコ内には具体的な名称ないし方法を記入する。
- ④二種及び三種病原体の分与の際には、移動予定日のほか公安委員会への届出にかかる事項を記載すること。

取扱様式 9 海外用
 WHO コラボレーションセンター
 国内用

特定病原体等受入申請書

国立感染症研究所長 殿

申請日 平成 年 月 日
 申請者 部（センター・室）長
 氏 名 _____ ㊞

国立感染症研究所病原体等安全管理規程第 20 条第 3 項の規定に基づき、特定病原体等の受入について申請します。

1. 受け入れる特定病原体等の名称(種別, BSL) (毒素にあつては種類及び数量)	(,)		
2. 家畜伝染病予防法に基づく輸入許可の有無又は届出確認の有無	(有・無) 有の場合は、許可証明書又は確認書の写しを添付すること。 無の場合は、その理由を次の中から選ぶこと。 1. 国内分離株のため 2. 海外分離株だが監視伝染病の病原体でもなく届出病原体でもないため 3. その他：理由 ()		
3. 移動目的			
4.	相手機関名		
	相手機関の移動責任者	所 属	
		氏 名	
	連 絡 先	住 所	
TEL:		e-mail:	
5. 移動方法②	1. 郵便 2. 配達業者 () 3. その他 ()		
6.	受入責任者	官 職:	氏 名:
	庁舎名・搬入実験室名	庁舎名:	実験室名:
	BSL2 実験室運営責任者又は BSL3, 4 実験室運営責任者	㊞	
	BSL2 特定病原体等取扱責任者 又は BSL3, 4 病原体等取扱責任者	㊞	
7. 移動予定日	平成 年 月 日		
8. 備 考			

注意事項

- ①この申請は、特定病原体等を感染研以外の機関から受入れる場合に提出する。
- ②カッコ内には具体的な名称ないし方法を記入する。
- ③備考は、特記事項がなければ空欄のまま提出する。



B I O H A Z A R D

入室承認者以外立入禁止

実 験 室 名	
病原体等の B S L	
BSL 2 実験室運営責任者又は BSL 3, 4 実験室運営責任者	
緊急時の連絡先 電話番号(内線・自宅)	

(参考) 改訂事項一覧

年月日	適用	改訂内容
平成 22 年 6 月 1 日	安全管理規程から別冊化	
平成 22 年 6 月 1 日	取扱様式 1 一部改正 取扱様式 5、8、9 一部改正	実験室認定手続き（安全管理規程第 18 条第 3 項）の改正に伴う様式変更 項目 2 に「家畜伝染病予防法に基づく」の文言を追記